

日田市

立

東溪小

学校

【教育目標】

自ら学び 心豊かに たくましく 生きる児童の育成 ～自ら考え行動する子ども～

【重点目標】

- 基礎・基本の定着と児童の主体性を高める授業づくり(学力向上)
- 児童による東溪小らしさ(誇り)づくり(共感的人間関係と自己肯定感・リーダーシップの育成)
- 一人一人の課題を解決し、体力を向上させる体づくり(体力向上)

4・・・90% 3・・・80% 2・・・70% 1・・・60%

| 重点目標 | 評価 | 達成指標 | 重点的取組 | 取組指標 | 評価 | 2学期への改善点 | |
|------------------------------|----|---|-------|--|---|------------------------------|---|
| 児童の主体性を高める授業づくり 基礎・基本の定着と | 4 | ○ 算数の市販テストにおいて、正答率70%以上の児童を85%以上にする。 85.8% →達成率 100% | 学校 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 授業、ドリルタイム、家庭学習における練習問題の取組及びやり直しの徹底。 ○ 児童の実態や内容に応じた、児童が主体となる授業づくり。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 各学年で、基礎的な練習問題を毎日、活用問題を週に一度、取り組ませる。 ・ 話し合いや学び合いの活動を毎日1回以上、授業の中で行う。 * 取り組み状況を把握するため、月ごとに担任がチェックし、部会で確認する。 | 3 4 | 活用問題を週に一度、1問でも必ず取り組ませる。やり直しはその子の学習状況に合わせて行う。 学年によって達成指標以上に上げられるところがあるので、各学年で分析して達成指標の検討を行い、2学期の4点セットに反映させる。 |
| | | | 家庭 | ○ 家庭学習(各学年+1)×10分間と忘れ物チェックの取組。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 毎日、各家庭で読書貯金ファイル、音読ファイルに評価やサインをする。(担任も毎日チェック) ・ PTA研修部が、忘れ物チェック週間の取組を1学期に3回行う。 | 3 4 | 個別の声かけをしながら継続して取り組む。 2学期、PTA研修部は、親子読書週間に取り組む。 |
| | | | 地域 | ○ 「学校サポーター」の取組。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校サポーターが1学期に1回以上各学年で授業に入る。 ・ 教務が、各学年が学校サポーターを活用できるよう、サポーターと担任のスケジュールを組む。 | 4 4 | 2学期も継続して取り組む。 2学期も継続して取り組む。 |
| 東溪小らしさ(誇り)づくり 児童による | 4 | ○ 指定した学校行事や学級活動で、自分で考え、行動できたと評価する児童を50%以上にする。 児童アンケート60% →達成率120% | 学校 | ○ 学校行事や学級の活動で子どもが考え、行動するための仕組みと時間を作り、児童による東溪小らしさ(誇り)の創造。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもたちが取り組む学校行事で、自ら考え行動させるため、取り組みの基本を指導し、話し合いや活動の時間を作る。 ・ 子どもたちが取り組むが学級での活動で、自ら考え行動させるため、取り組みの基本を指導し、話し合いや活動の時間を作る。 | 4 4 | 運動会をメインに取り組む。チーム、赤白の単位で活動の推進を図る。 2学期も継続して取り組む。 |
| | | | 家庭 | ○ 各家庭での手伝いの習慣化。 | ・ PTA事業部が、子どもたちに家庭での手伝いを習慣づけるため、1学期に1回、お手伝いチャレンジ週間を行う。 | 4 | 1学期の「お手伝いチャレンジ」の結果を各家庭に返し、1学期よりも◎が増えるように取り組む。 |
| | | | 地域 | ○ 地域行事への小学生の参加。 | ・ 校区内の各団体(自治会、体協)が、地区行事に参加するよう小学生のいる家庭に呼びかけをする。また、子どものいる家庭も積極的に地区行事に参加する。 | 1 | 保護者アンケート肯定61% 夏休み前に保護者へ地域行事への参加の呼びかけを行った。 |
| 一人一人の課題を解決し 体力を向上させる体づくり | 4 | ○ 4月の握力テストの結果を全学年0.8ポイント以上上回る。 0.75ポイント →達成率94% | 学校 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 楽しみながら取り組める工夫(場、道具、チームなど)。 ○ 5月の体力テストで明らかになった課題(握力、瞬発力)の解決を図る。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 「グッドモーニング鬼ごっこ」を毎日する。 ・ チーム遊びを週1回、中休みに位置づける。(雨の日は、体育館を利用する)。 ・ 握力の向上を強化項目とし、朝会や体育の5分間トレーニングで実施する。 ・ 学年ごとのめあてを月ごとに評価し、結果を部会で検討し、改善点を全体へ提案する。 | 4 4 4 2 | 2学期も継続して取り組む。 めあてカードで意識付けることができた。 体育の時間の取り組みが、子どもたちの休み時間の遊び方の変化につながった。 削除あるいは学期に1回に変更する。月ごとでは、取り組み期間が短すぎる。 |
| | | | 家庭 | ○ 家庭で楽しみながらの握力強化。 | ・ PTA保体部が、1学期に1回強化月間に親子で握力向上プログラム(1週間)に取り組む。 | 4 | 時期の検討と各家庭の取り組みの紹介を行う。 |